

HTT032-P10

会場:コンベンションホール

時間: 5月24日17:15-18:45

## 応用一般均衡モデルを用いた農産物の生産・消費の空間解析

### Spatial analysis for production and consumption of agricultural products based on Computable General Equilibrium Model

頼 理沙<sup>1\*</sup>, 吉田 喜久雄<sup>1</sup>

Risa LAI<sup>1\*</sup>, Kikuo YOSHIDA<sup>1</sup>

<sup>1</sup>産総研・安全科学

<sup>1</sup>RISS, AIST

疎水性の化学物質は、大気・土壌・水等の環境媒体から農作物・畜産物・水産物に移行するため、農・畜・水産物の流通に伴う化学物質の空間移動を考慮した排出源対策が重要である。しかしながら、現状では、農・畜・水産物の流通に関する集計データが限られており、農・畜・水産物中の化学物質濃度の測定も多大な時間と労力を必要とするため、一部の物質にのみ実施されている。そこで、本研究は、疎水性化学物質のヒト健康リスク評価に不可欠な情報である農・畜・水産物の流通をモデル化することによって、化学物質のリスク管理の効率化を図るものである。我々は既に空間的相互作用の理論に基づいた農産物の流通モデルの開発を報告した（2009年度大会）。本稿では、新たに空間的応用一般均衡モデルを用いて地域経済を考慮した地域間の流通モデルを構築し、農産物移動の数値シミュレーションを行い、その輸送パターンを提示する。また、二つの流通モデルをベースとした生産・消費の空間構造について述べる。

キーワード:農産物,流通モデル,一般均衡モデル,需要,供給

Keywords: Agricultural products, Transportation model, General Equilibrium Model, Demand, Supply